

令和7年度も多くのご支援をいただき、ありがとうございました。

校庭の桜のつぼみがふくらみ始め、春の訪れを感じる季節となりました。本日、令和7年度の修了式を無事に迎えることができました。この一年間、子供たちは学習に行事に、そして日々の友達との関わりの中で、心身ともに大きく成長しました。昨日までできなかったことができるようになった時の誇らしげな表情、友達を思いやり、手を取り合う姿。そんな一つひとつの積み重ねが、今の輝く子供たちの姿に繋がっています。

保護者の皆様、そして地域の皆様には、本校の教育活動を温かく見守り、多大なるご支援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。皆様の支えがあったからこそ、子供たちは安心して学び、自分らしく歩みを進めることができました。

今日、子供たちは一学年上のステップへと続く修了証を手にしします。この一年で蓄えた力を糧に、次年度もさらに高く羽ばたいてくれることを確信しています。今後とも、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。



卒業記念親子お茶会

3月6日(金)、卒業を間近に控えた6年生が、地域の伝統文化に触れる全3回の「作陶教室」を締めくくる「親子お茶会」を開催いたしました。第1回の粘土掘り体験から始まり、第2回では自分たちの手で粘土をこね、抹茶椀を形作ってきました。そして今回、陶芸家の松浦加奈先生の手によって一つひとつ丁寧に焼き上げられた、世界にたった一つの抹茶椀が子供たちへの元へ届きました。

当日は、茶道家の澤田素南先生や水戸桜ノ牧高校茶道部の皆さんをお招きし、美しいお点前を学んだあと、親子で語り合いながら抹茶を楽しむひとときを過ごしました。

「七面焼」の伝統を次世代へ繋ごうとする「魁の会」の皆様、本校元校長小林宏次先生をはじめ、多くの地域の方々の愛情に包まれ、子供たちはふるさとの文化の素晴らしさを肌で感じることができました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



桜川クリーン作戦

2月7日(土)、寒空の中、「住みよい浜田をつくる会」主催の「桜川クリーン作戦」が行われました。今年度から、浜田小学校共育委員会の皆さんと児童も参加し、地域の方々と一緒に清掃活動に取り組みました。桜川沿いを二手に分かれて歩き、燃えるゴミと燃えないゴミを丁寧に分別しながら、用意したゴミ袋がいっぱいになるほごのごみを回収しました。自分たちの住む街がきれいになるのは、本当に気持ちよいものです。児童たちにとっても、自分たちの手で街を美しくする喜びを実感し、郷土愛を育む貴重な機会となりました。

家庭教育研修会

2月17日(火)、茨城大学非常勤講師の菊池美也子先生をお迎えし、家庭教育研修会を開催しました。テーマは『親も子も一年生』。「親だからといって、完璧でなくて大丈夫。親も子育ての一年生ですよ。」という先生の温かな言葉に入学を控えた保護者の皆さんの不安もふっと和らいだようです。

一方、体育館では現1年生が幼稚園・保育園の皆さんをお出迎え。優しく読み聞かせをしたり、プリント学習をサポートしたりと頼もしい姿を見せてくれました。新1年生を迎える準備は、もうバッチリ！そんな子どもたちの成長した姿が、何よりの安心材料となった一日でした。



下市タウンフェスティバル



3月8日(日)、冷たい風が吹く冬空の下、下市タウンフェスティバルが開催されました。本校からも多くの児童が参加し、地域を大いに盛り上げました。

オープニングを飾ったマーチングバンド。寒さに負けず、堂々と楽器を奏でる姿に、沿道の方々からも大きな拍手が送られました。その凛とした演奏は、日頃の練習の成果が存分に発揮された素晴らしいものでした。

その後、今年は鮮やかな黄色のハッピーを身にまとい、39名の児童が子ども御輿を担ぎました。交代で重い御輿を担ぎながら、ゴールを目指して練り歩きました。街中に響き渡る「わっしょい！」の掛け声は、寒さを忘れさせるほどの熱気にあふれていました。

自分たちの住む街を自分たちの力で盛り上げる。そんな積極的な姿勢を、これからも大切に育んでいきたいと思えます。



第79回卒業式



3月18日(水)、本校から85名の卒業生が、この浜田小学校を巣立っていきました。一人一人がこれまでの学びを糧に卒業証書を受け取る際は非常に堂々とした態度で、最高学年としての自信と誇りに満ち溢れていました。

また、式に参列した在校生も、卒業生の門出を祝うにふさわしい立派な態度で式を支えてくれました。保護者の皆様、地域の皆様、これまで温かいご支援をいただき本当にありがとうございました。